

## 質問順

## 第503回 令和元年9月定例会 一般質問通告一覧表

## 富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者		
1	9	織田 昭雄	(1) 人口維持の為の施策について	① 移住、定住の促進への補助金制度の現状はどうか？ 他市町村と比較し、遅れをとっていないか。	町長		
				② 富士見町への定住、移住希望者への住居支援は十分に足りているか。			
				③ 工業、農業、商業、観光業者などの後継者問題の現状について、町は把握できているか。			
				④ 農業以外でUターンして富士見町に戻り家業を継ぐ人達への支援策は考えられないか。			
			(2) 町の観光行政についての将来へ向けた具体的な方策について	① 町の基幹産業の一つである観光についての将来像はどんな計画で進むのか。		町長	
				② 井戸尻遺跡群の保存と同時に、もっと世の中に広めていくべきと思うが、町の考えは。			
				③ 第五次総にある着地型、滞在型観光作りを進める為に町はどの様な計画を推進していくのか。			
				④ 町内2大リゾートを拠点とした観光の推進は、公社と民間の棲み分けを考えて進めていくのか。			
		(3) 駅前商店街等の街路灯について	① 最近商業会の中でずらん街路灯について老朽化に伴う撤去問題が出ている様ですが、町は現状の把握をしているか。	町長			
			② 先日中学校横道路や役場駐車場に個人からのご厚意で街路灯が寄贈されたが、こうしたものは行政がやるべき仕事ではないか。				
		2	7	三井 新成	(1) 第2次富士見町都市計画マスタープランについて	① 現行計画の問題点と課題は、近隣住民に理解されているか。	町長
						② 現状と課題として、コンパクトで一体性のあるまちづくりとあるが、その意味は。	
③ コンパクト化を目指した政策により周辺地域の過疎化が進行するが、その対策は。							
④ 土地利用構想図の産業工業ゾーンとは、どの程度の規模を想定しているか。							
(2) 富士見町立地適正化計画について	① 計画を策定するにあたってメリット・留意点とあるが、具体的事業とは。			町長			
	② 中心交流拠点の中には地形的に無理がある土地があるが、利用対策はあるか。						
	③ 都市計画マスタープランと重ならない区域があるが、その取扱は。						
(3) ハケ岳エコーラインの延伸について	① 平成7年度以前の道路建設の計画の資料は存在していたか。			町長			
	② 延伸することの必要性について町長の考えは。						
3	1			川合 弘人	(1) 公共施設再編計画の進め方	① 町民の意見をどのように吸い上げ、計画に反映させていくか。情報共有の在り方は。	町長
						② 優先度が高く、第1期(～2026年)後半をめぐっている学校教育施設・保育園再編の方向性は、どのような手順で検討を進めていく考えか。	
						③ 海洋センターの廃止方針と、スポーツ施設の需給バランスをどうみるか。また、跡地利用の構想は持っているか。	
		④ 改築を目指す井戸尻考古館など3施設の将来ビジョンはどのようなものか。					

## 質問順

## 第503回 令和元年9月定例会 一般質問通告一覧表

## 富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者		
3	1	川合 弘人	(2) 諏訪南リサイクルセンター稼働後の南諏衛生センターと、住民サービスの在り方	① し尿処理施設の長寿命化は可能か。老朽化に伴う更新の考えは。	町長		
				② 粗大ごみの受け入れを、引き続き町内で行った上で、諏訪南リサイクルセンターに持ち込むような、町独自の業者委託は検討できないか。			
4	5	牛山 基樹	(1) キャッシュレス決済の重要性と商業活性化のまちづくりについて	① 総務省の「モバイル決済モデル推進事業」に長野県が選ばれたことを踏まえ、富士見町としての重点的に取り組む計画と現状の課題はなにか。	町長		
				② 地域通貨、地域カードをベースとしたキャッシュレスの環境整備、還元ポイントなど、描いているプランはあるか。			
				③ 将来の町の商業活性化対策をどう考えているか。			
		(2) SDGsを活かすまちづくりについて	① 町が考えるSDGs、2030年までのゴールへの取り組みについて。	町長			
			② SDGsを導入促進のために、企業並びに個人に対して具体的に働きかけたり、サポートを考えていることはあるか。				
			③ SDGsに積極的に考えられるための”自分とのつながりを探る”子供の教育について、富士見町の学習の現状はどうなっているのか。	教育長			
(3) まち・ひと・しごと創生基本方針2019について	① 第1期策定事業の町としての総括は。	町長					
	② ①を踏まえて、2020年からの地方版富士見町計画において、重点を置き取り組む町のポイントは決まりつつあるのか。						
	③ 第1期の課題を踏まえ、今後のKPIの評価基準をどう考えているのか。						
5	4	小倉 裕子	(1) 公共施設の情報インフラ見直しについて	① 補助事業等で敷設された情報インフラの現状について不要なものがあるかどうか確認し、無駄な経費を削減するべきではと考えるが、実施する考えはあるか。	町長		
				(2) 情報基盤整備について		① 前回の質問以降、情報基盤整備の準備についてどのように取り組んできたか。	町長
						② 災害時緊急通報の手段についてどのように考えているか。	
		③ 町民相互のつながり、見守りについて現状の課題は。					
		(3) テレワーク移住者による地域産業強化と地域活性化事業の今後について	④ 将来的に高齢者が買い物や診察などを自宅のできる様なネットワークの構築をしていく考えはあるか。	町長			
			① 地域創生交付金及び町からの支援によって、「森のオフィス」は一企業として自立の道が見えてきたと思われる。テレワーク＝移住という考えを見直す時期に来ていると思うが、今後の方針は。				
② 地方創生交付金事業を、町を支え続けてきている産業への支援に活用する考えは。							
6	6	島 正孝	(1) 8月は鎮魂と慰霊の月、平和への取り組みは	① 町長の平和への取り組みは。その取り組みへの動機と根拠は何か。	町長		
			(2) 職員の人事評価について	① 職員の人事評価の一つにバランス感覚と気配りと発言しているが、それを重視すれば、思考停止と無責任が職場を支配する心配はないか。また、自己決定能力を阻害する心配はないか。	町長		
			(3) 職員が課題解決のために、どのように職場づくりをしているか	① 議員と他団体の意見交換会で厳しい指摘がされる。それは、窓口相談に行っても職員の対応に誠意と熱意が感じられず、多くは予算、制度等で出来ないということで相談が終わってしまう。もし現状できなくても、一緒に工夫して、課題解決しようという工夫と熱情が感じられないのは残念である。何故このような指摘が出てくるのか。	町長		
			(4) 目指すべき図書館運営について	① 富士見町が誇る図書館運営について、もし長期的、短期的課題があるとすれば、それは何か。	教育長		

## 質問順

## 第503回 令和元年9月定例会 一般質問通告一覧表

## 富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
7	3	名取 久仁春	(1) ライフライン等保全対策事業について	① 今年手を付ける場所は何処か、その総延長はどれくらいか。	町長
				② 伐採対象の範囲とその本数は？	
				③ 県と中部電力・町の3者連携はどのようなものか(定期連絡会等の設定なのか?)	
8	8	名取 武一	(1) 幼児教育“無償化”について	① “無償化”により、保育園利用者が増えること、利用時間の延長などが予想されるが、その見通しと対策は。	教育長
				② 特に未満児保育について、現在満杯に近いと聞いているが、施設対策、保育士確保対策は。	
				③ “無償化”により町独自での保育料を軽減した部分について、財源が生まれるはずだが、その額とその利活用は。	
				④ 保育料が無償となっても、副食材料費(月4500円)は実費徴収となる。町の制度と鑑み、利用者の一部に今までより負担増となることはないか。その場合の対策は。	
				⑤ 認可外施設について、利用補助上限月3.7万円(0~2歳<非課税世帯のみ>4.2万円)としているが、町民利用者の状況は。超える場合の補助を考えているか。	
				⑥ 認可外施設について、国は保育士割合を3分の1以上とする認可外保育施設監督基準を5年間満たさなくてもよいという経過措置が設けられたが、町民が利用している認可外施設の状況は。	
				⑦ “幼保無償化”は、保育園などに児童を預ける保護者には支援があるが、家庭で児童を育てる保護者には国からは支援がない。町の独自支援とのバランスは。	
				⑧ 認可外施設について、「改正法」では保育の必要性のある子供だけが利用料補助の対象としている。町民利用者で漏れることはないか。漏れた方への対策は。	
		(2) 公営・町営住宅に関する「公共施設再編方針」について	① 町が策定した「公共施設再編方針」では、公営・町営住宅については毎年1カ所ずつ廃止などをし、将来富里公営住宅だけを残すとしているが、低所得者対策は。	町長	
		(3) 「富士見パノラマリゾート」について	① 最近「開発公社・パノラマを考える会」が「パノラマの現状をお知らせします」というチラシを配布し、ある一般紙にも会の活動が報道された。これに対する町の見解は。	町長	
② 「公共施設再編方針」では、「必要な改修や整備を適宜行う」としているが、その費用と資金計画を早急に明らかにすべきではないか。					
9	10	五味 仙一	(1) 80・50問題について	① 3年後、6年後、又現在の50歳代が80歳代となる30年後が心配です。現在すでに起こっている問題への対処方法ではなく、若年層の一般成人者が問題の当事者とならない為の考えがあれば生涯学習の観点からお聞かせください。	教育長
				② 現在の指導要領の主意が理解され、一般的に内容が達成できていれば、この問題の発生が抑制できるのか、又40年前の指導要領との間に明らかな差異があり当時の指導に原因があるのか、又原因は義務教育以後にあるのか、考えがあれば義務教育の観点からお聞かせください。	
		(2) 職人・技術者不足について	① 建設の現場に若者は非常に少なく、素晴らしい技を持つ高齢の技術者は、若い後継者を育て、匠を伝承する事を諦めています。育てる事は時間的余裕も金銭的余裕もない為、即戦力の高齢技術者を外注(常用)する事でその場を凌ぐ状況が長く続いています。新築住宅、リフォームの補助金等により間接的に支援はされているのですが、熟練工育成となると相当な年月が必要となります。何とか支援の方法を模索する考えがあればお聞かせください。	町長	
			② 素晴らしい技術の伝承はその成果品に達成感を生みます、その達成感が生き甲斐へと変わっていくのだと思います。子供の将来なりたい職業の上位に、大工さん、配管屋さん、お百姓さんと言う言葉を長い間聞いた記憶がありません、子供が目指す職業選択の一つとして、なるべく早い段階で富士見町らしく上手に紹介することは可能でしょうか、考えがあればお聞かせください。	教育長	

質問順

第503回 令和元年9月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
10	2	五味 平一	(1) 富士見町に於ける「ひきこもり」の現状・実態について	① ひきこもりの定義と定義に対する考えは。	町長 教育長
				② 町全体での該当者数は。現時点で全人口のに於ける割合は。	
				③ 10歳代・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代のひきこもり該当者数は。また、各年代ごとの男女別数は。	
				④ 現在問題となっている「8050」「7040」該当者の生活状態、就労状態の現状は。	
				⑤ 義務教育期間中の不登校、ひきこもり当事者の生活状態、就学状態の現状は。	
				⑥ 富士見町ではひきこもりの実態調査をどのように行い、現状を把握し活用しているのか。	
			(2) 「ひきこもり」問題をめぐる背景について	① 社会的背景を考察して町の問題の背景は。	町長 教育長
				② 義務教育中の不登校からひきこもりになる背景は。	
				③ 20歳代・30歳代の若者に考えられるひきこもりの背景は。	
				④ 問題となっている「8050」「7040」に該当するひきこもりの背景は。	
			(3) 「ひきこもり」支援は既存の社会への適応に何らかの困難を抱える個人の生き方を考えて行われているか	① 支援の体制として、行政・民生児童委員会・社会福祉協議会との連携、役割はどのように。	町長 教育長
				② 不登校やひきこもりの支援にアウトリーチ型支援が有効とされているが考えは。また家族への支援、誰がどのように行うのか。	
				③ 医療・保険・福祉・教育等、専門機関による多面的支援が必要と考えるが現状は。今後は。	
				④ ひきこもりの長期化を防ぐために、町の考えは。	
				⑤ 既に発生しているのか、今後問題となるのか、生活困窮者対応についての考えは。	
9月 9日(月) 5名 1番～ 5番 10日(火) 5名 6番～ 10番					